

あかひ

8

広報

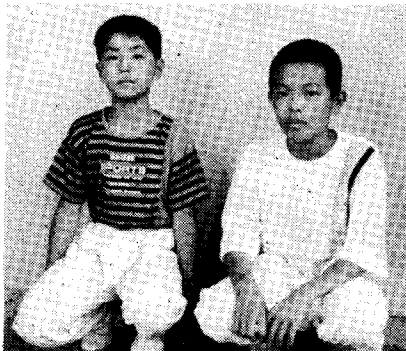
発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,109(3) 男4,802(+13) 女5,307(16) 世帯数3,436(+ 7) 63年6月末日現在 内は前月との比較です

連係プレーで人命救助

ちよつと日数が経っていて恐縮なんです、いい話なので紹介します。

五月二十九日(日)、上野小学校六年生の西野清隆君と五年生の小松拓馬君は、所属している少年野球チーム「上野イーグルス」で、ラニングの最中、大浦池の横を走っていました。二人が何気なく池の方へ目を向けると、近所に住む「おばあちゃん」が池で、足をすべらせて溺れています。「どうしようか」「自分たちだけでは、どうしようもない」二人の気持は少し動揺しました。でも少しも慌てず通りかかった車を止め、近くの大



▲お手柄の西野清隆君(右)と小松拓馬君

人に助けを求めました。「おばあちゃん」は池から引き上げられ、少し水を飲んでいましたが、事無きを得ました。お手柄の二人。あついで夏にさわやかな話題でした。

やさしい心がきれいな声に

二つめの「さわやか」は、声のボランティア。こう書いても何の事か分らないでしょうが、毎月発行されている広報「あかひけ」や日刊紙のコラム、ちよつとした読み物をテープに吹き込み、それを赤池町社会福祉協議会(山下次男会長)を通じて、目の見えない方や、字の読みづらいお年寄りの方に届けて喜んでもらっています。そのテープに吹き込む作業を、二人の女性の方がされています。

貴船の丸山鈴子さんと、大園多枝さん。丸山さんは五年程前から、大園さんは今年の一月から始められたとの事ですが、二人とも「原稿は何度も読み返します。読み間違いや、つかえなどない様にしていきますが、難しいですね」と話してくれました。有難うございます。これからもよろしくお願ひします。読みやすく、分かり易い文章を心掛けていきますので…。

あついで夏に

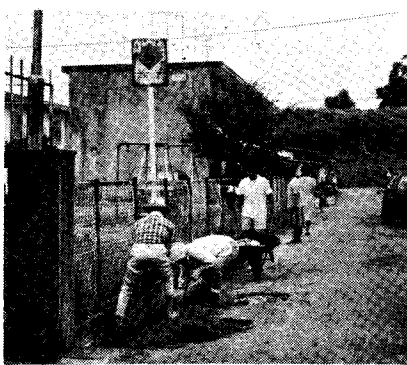
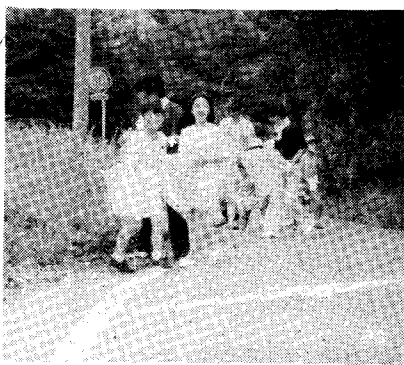
美しい町が好きです

三つめの「さわやか」は、町内清掃の話です。七月十七日(日)、町営伏原で、住民の方約百人が参加して団地の清掃を行いました。溝掃除、草むしりなど午前八時から始めて二時間程で、トラック三台分のゴミ。汗を拭くタオルも絞れる程の暑さの中、御苦労下さいました。ちなみに、この活動は、昭和四十八年以来、毎月続けられています。

さわやかを届けます

(柴田逸郎会長)の方や子供たちを含めて六十人が参加して行ってくれた上野峽の空カンの収集作業。一生懸命に集めた空カンは、トラックに山積み。「こんなにあるの」参加した方は、ただ呆れるばかり。「一体誰がこんなに捨てるのだろう」本当に誰が捨てるんでしょうか?一人ひとりが気をつけられ、「こんな事しなくても良いのに」参加した子供の声が増えてくるようです。

▼これからも願ひします丸山鈴子さん(右)と大園多枝さん



▲御苦労さまでした。町営伏原清掃(写真右)と勤労者協議会の方の空カン拾い

国民健康保険税 改定させて頂きます

医療費は毎年増え続けています。医療費が増えると、みなさんが負担されている保険税も当然増えることになるわけです。このため今年も下の表の様に国民健康保険税の税率を上げざるを得ません。医療費を少しでも節約するため次のようなことを心がけましょう。

- ①まず、健康づくりです。
- ②ハシゴ受診はやめて下さい。
- ③大幅な割増し料金をとられる深夜、休日、時間外受診を避けましょう。

	改定前	改定後
所得割	100分の8.8	100分の9.0
資産割	100分の60	100分の55
被保険者均等割	18,000円	変らず
世帯平等割	19,000円	20,000円

水道料金を改定させて頂きます

8月分<9月検針>より

水道料金(現行)

基本料金			超過料金	
水量	口径	料金	水量	料金
8㎡まで	13mm	980円	9㎡から 1㎡につき	220円
	20mm	1,180円		
	25mm	1,240円		
	40mm	1,340円		
	50mm	1,860円		

水道料金(改定)

基本料金			超過料金	
水量	口径	料金	水量	料金
8㎡まで	13mm	1,080円	9㎡から 1㎡につき	240円
	20mm	1,300円		
	25mm	1,380円		
	40mm	1,480円		
	50mm	2,060円		

ふれあいと文化の町をめざして

50 赤池町制50周年

50歳の赤池町 ①

昭和十四年十一月三日、金曜日に赤池町が、うぶ声を上げて今年で五十歳。その誕生から今日までの赤池町の経過を何回かに分けて、「赤池町史」よりお知らせしたいと思います。

赤池町となった昭和十四年、赤池町は「上野村」でした。この上野村ができたのは、明治二十二年四月一日、国からの市町村制の施行で、それまでであった上野村、鋤木田村を「上野村」赤池村は、そのまま「赤池村」市津、草場村を「市場村」と三カ村にし、この三カ村が、「上野村」として統合され、薬王寺新屋敷に村役場を置きました。

ちなみに、この当時の人口は三千七百六十九人、世帯数は四百八十五戸。それでは「赤池町史」の行政篇で昭和十四年当時を偲んでみます。

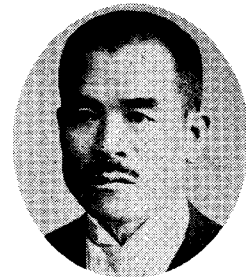
○消防組及び防護団を廃し、上野村警防団を設置す。
○軍用保護馬鍛錬場設置百五十円支出される。
○名称変更町制施行さる
五月三十一日(村議会に?)提出し、同日撤回、七月十二日村会再提案、十一月三日決議さる。

野村警防団を設置す。
○軍用保護馬鍛錬場設置百五十円支出される。
○名称変更町制施行さる
五月三十一日(村議会に?)提出し、同日撤回、七月十二日村会再提案、十一月三日決議さる。

赤池町制定の留意

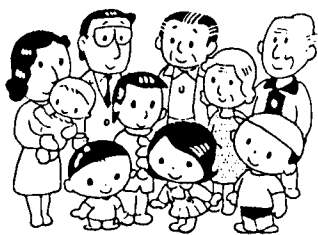
発電所拡張、赤池駅開設し、村勢著しく発展し、特に大字赤池駅附近商家備比(注①)し、又運輸交通は下田川の要衝に当り、舗装道路の完成と共に益々繁栄を極め、以前より豊前赤池町として公称され、当時の殷賑(②)は京阪の地に迄も喧伝され、由緒ある地名で商取引其他に於ては常に赤池町と記載して往復し居る状況で、上野村を赤池町と変更するのは、商取引その他有利なるものあるを信じ町制の諸条件も具備せると思考せらるるに依り茲に名称を赤池町と変更し、町制へ移行せんとす。

※注①くしの歯のように、ぎっしりならぶこと。②非常ににぎやかなこと、ようす。③、太字は筆者。



初代町長 池田 勝三郎 氏

議会だより



昭和六十三年第五回六月定例町議会が、六月二十八日と二十九日の二日間の日程で開かれました。

◎昭和六十三年年度赤池町一般会計補正予算算入八百八十五万九千九百円を追加補正し、予算総額を四十一億七千七百六十四万五千円となりました。内容のおもなものは、平原ため池整備事業の内示に伴う

工事費五千三百九万三千円。町制五十周年記念事業経費一千三百二十四万五千円などです。
◎赤池町集会所施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定し昭和六十二年事業で新設した「市場集会所」を赤池町条例にある別表に入れるものです。

昭和六十二年年度繰越明許費繰越計算書。昭和六十二年年度赤池町土地開発公社決算書、又、五月二十三日から六月八日まで行われた。昭和六十二年年度定例事務監査の結果がそれぞれ報告されました。
◎福祉施策の改善・充実・国庫負担

担削減の撤回を求める請願書採択の上関係各省市に提出された。
◎昭和六十三年度し尿収集手数料改定に関する陳情書厚生委員会に付託されました。

担削減の撤回を求める請願書採択の上関係各省市に提出された。
◎昭和六十三年度し尿収集手数料改定に関する陳情書厚生委員会に付託されました。

一般質問

○消費税率導入の場合の赤池町の取り組み方について。
○国の納税者心理を考慮できない一方的な税制の導入は理解ができない。国民が納得できるような税制を期待しています。又、現段階では導入しようとしている税制そのものの内容が日々変化している状況なので、今のところ見通しがたちません。

健康チェックパートⅡ

- 成人病検診⇒胸写(結核検診)、問診、身体計測、血圧、検尿、他にもあります。
 - 婦人ガン検診⇒子宮ガン、乳ガン検診
 - 乳ガンの自己検診法⇒検診の待ち時間に自己検診法を実技指導
 - 肺ガンコーナー⇒胸部X線写真と喀痰による検査
 - 講演会⇒講師、町立病院医師(ガンの話や、痛みの話など)
- ※他にも健康相談のコーナーなど、いろいろなコーナーが盛り沢山あります。
▷9月4日(日)午前10時から午後3時まで
▷場所は町民会館で行います。

参加して下さい

ぜひ一報下さい

古い写真を探しています。お借りして複製、した後、お返しします。ご協力下さい。
▶役場、総務課、文書広報係まで
☎28-2004 (内線243)

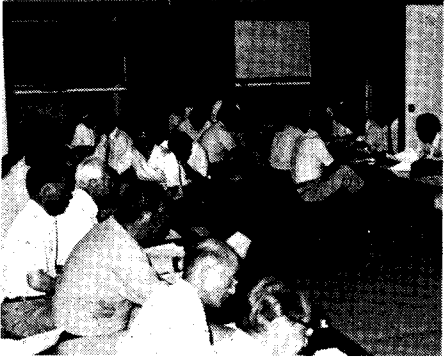
子どもの歌 募集中

いつでも、どこでも、だれもが唄える新しい童謡を募集しています。作曲、作詞・作曲、又は譜面にならない場合はテープに吹き込んでお送り下さい。締切りは9月10日(土)です。
※送り先・問い合わせ 赤池町民会館：童謡祭「こどもの歌」募集係 ☎28-4100

河村光陽88 10月29日・30日童謡まつり

地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図ろう

4団体懇談会



生きがいと健康を願って
——養命大学開講——

7月5日、赤池町同和対策中央研修所で4団体(地区公連子育連・補導連・3校PTA連)80名が参加し懇談会が「写真」行われました。夏休みを控え、子どもの生活指導や指導体制を地域では、どのように取り組み、青少年の健全育成を図るかを討議の柱として進められました。当日は、田川警察署少年課の西村課長を招き、田川郡内の少年非行の実態や子どもの心理、補導対策等を話していただきました。

初めての懇談会だったのか、あまり意見は出ませんでした。が最後に子どもの健やかな育成は地域ぐるみで図ることを確認し合い、第一回目の懇談会は終了しました。この講座が役に立てれば幸いです。



63年開講式

7月7日、高齢者のより充実した人生を送るために、今年も養命大学講座が町民会館で開講しました。毎年開設していますが、今年は20名の方が元気に受講されました。毎月2回(第1、第3木曜日)11月までの計10回の講座ですが、午前中は一般教養的な講話を全員が受講し、午後から園芸、民謡、陶芸、民舞の4コースに各々が分かれ、趣味が生かされるような講座となっています。長寿社会を迎えたいま、老後を実りある充実したものとするためには、学習



市場姉妹対決今年も7月に軍配
25日、本年度の子どもスポーツ大会、女子フットベースボールは町

ママさんバレー悲願の初V

剣道・バドミントンも田川制覇

第27回郡体

香春町を主会場に開催された第27回郡民体育大会も大半の競技を終え、残すところ今日21日行われる陸上競技だけとなった。本町より出場した選手団の頑張りも例年になく目立つ大会となった。

本町選手団(団長大島勇夫体協)会長(百35名は、郡体好成绩を目指して、各専門部とも例年より、早く強化練習を始動したことが、好成績を生むこととなった。また、日野町長も本年は御夫婦で各会場に応援に来られ、体協役員、チームメートと共に応援、選手も、実力を十分に発揮し、優勝戦へと勝ち進んだ。上位入賞は次のとおり。

女子優勝・壮年男子優勝・一般男子準優勝【卓球】総合、2位▲一般の部準優勝・青年の部準優勝▲個人戦、一般男子②日高景年・同女子②平川紀美子・青年男子②樋口俊治・同女子②今村佳世

【剣道】総合、2位▲一般男子優勝▲個人戦、五段の部①武末一郎・四段の部③浜崎孝一・二段の部③建部高明【バレーボール】一般女子優勝

部落の歴史

部落の歴史 部落のくらし

人権学習

前号で「つくられた部落の歴史」について簡単に述べてきましたが、今回は「部落の暮らし」について述べてみたいと思います。

○村をささえる被差別身分の役割
享保年間頃になると、田川の百姓たちの中に、重い年貢に耐えきれず、土地を捨てて逃げる者がでてきました。更に享保の大ききんによって、五人に一人と云う多くの百姓が死んで行きました。当時は、年貢を村単位で納めていたため、残った百姓の負担は更に重



7月24日午後5時、NHKTVから月かめめすいへいさん月という赤池少年少女合唱団の歌声が流れた。50周年を機に発足した合唱団は、結成わずか2ヶ月、「むなかた童謡フェスティバル」【写真】に向けての猛練習に耐え見事宗像の音楽大ホールにその声をとどろかせ全国に赤池町を胸張って紹介した。生まれたばかりの合唱団がここまでやったのは、指導者の熱意と、子ども達のファイトがあったからだ。童謡まつりには、もっとすばらしい歌声を聞かせてくれるであろう。子ども達をみんなの力で育てよう。

「コーヒー一杯で学習を」キャッチフレーズに、町民学習ネットワーク事業を行ってまいります。高月謝を払い、遠くにあるカルチャーセンター等に通うより、町内在住指導者の指導で、近所の親しい人達とワイワイと世間話をしながらお互いを高め合い、コミュニケーションを深めた方が大変得な事ではないでしょうか。現在指導者には、料理・水墨画・洋画・折紙・ヨガ等の分野の方が登録されています。

「私達は、〇〇を習いたい」と身分の人びとと百姓身分の人びとが一緒にあって、農業専業者として働き、崩壊しかけた農村をみんなで、力を合せていきました。

○部落の人々が果した生産労働の歴史

こうして、農業を専業とする部落の人びとは、貧困からぬけ出すため、また見下げられ、いやしめられることから解放されるため、どんな不利な条件でもほとんど農業に参加し「生産」と「労働」のかがやかしい歴史をつくり上げていきました。それは、差別を克服するエネルギーであり、日常的なたたかいであったと云えるでしょう。

「NHK夏期巡回ラジオ体操会」
8月16日(火)開催
町民グラウンド 午前6時

「コーヒー一杯で学習を」キャッチフレーズに、町民学習ネットワーク事業を行ってまいります。高月謝を払い、遠くにあるカルチャーセンター等に通うより、町内在住指導者の指導で、近所の親しい人達とワイワイと世間話をしながらお互いを高め合い、コミュニケーションを深めた方が大変得な事ではないでしょうか。現在指導者には、料理・水墨画・洋画・折紙・ヨガ等の分野の方が登録されています。



人の心の豊かさを
もどり梅雨のた
め、暑さ忘れ
この夏、それ
子ども達はお
いぶな。声ま
無邪気だ。ど
澄み渡る。何
私達も。その
命に達し。事
いり。は。

言ったご希望がありましたら是非、町民会館までご一報下さい。
町民会館28-4100

本との出会い②
文学が好きだった親の子どもが、文学を好むとは限りません。小さい頃、本を読むことができなかった母親が、自分の分までも願った。

「今後の広報啓発の中で「えた、ひにん」という封建身分や被差別部落を略した用い方で「部落」という用語を用いています。現在の民主主義社会においては用い方が村として年貢が払えず崩壊しかけていた村におけるこうした低い身分の人々のめざましい働きぶり、村のために果した生産は、村人たちに救世主のように、有難いものとして感謝されたはず。このようなことから、「えた」身分のまま農業専業者にされた人々も、農村共同体の中では「えた」と呼ばれることがなく、「えた百姓」、さらには「新百姓」と呼ば

をこめて、当時二年生だった男の子に「アルプスの少女ハイジ」「白雪姫」「白鳥の王子」などを読んでやっていたそうですが、「ぼく本読まん、姫の話もう嫌」と言って怒りだし、読書拒否反応を示すまでになりました。これでは、読書の喜びを知らせたい親の願いも台無しです。どうか、子どもの選ぶ本を認めてください。

よって人権侵害(差別)につながるような用語は避けるべきですが学習をわかりやすくするため、やむを得ず用いたものです。その点を十分ご認識の上、学習をより深めてください。

れ、村の中での評価や地位が高められていきました。

今月の解放講座
とき 8月24日(水曜日)
午後7時30分から
同和対策中央研修所
自己をみつめ、暮しを高める解放講座へ、是非どうぞ。

▲「カキーン」と金属音。今年も又、甲子園の季節を迎えたが、天候はつゆ明けと同時に、もどりつゆ。しかし、甲子園を目指す高校球児は、熱闘の毎日が続く。勝つて涙し、敗けて涙する姿。全力を出しきった勝者、敗者に素晴らしい青春群像を見た。両者にエールを贈りたいものだ。▲夏の夜のファンタジー。近隣の市町村では、花火大会が開催され、夜空に打上げられる花火は人々の心を魅了する芸術であります。一瞬の涼を求めるため、職人は冬に丹精こめた心を花火とともに夏に贈る。▲今年の郡体は、体協各部が燃えている。バドミントン、剣道に続き、一般女子バレーも優勝、バド、剣道は全大会出場選手が主力。しかし、バレーは、バレー好きなママさん達が母親、妻としてガンバリながら、部結成15年目の結晶を今、開花した。赤池ママさん初の県体出場。おめでとう。▲町内では10月29日、30日に開催される童謡まつりを町民の手で、地区公民館連合会がオレンジジュース「童謡館」を販売。目標は千500ケースに、役員さんは毎日、顔をつき合せ、目標に向けての計画づくり。この夏燃えている。▲情熱を燃しながらたどりついた道。数多くのドラマを作り、人々はまた歩みだす。